

きずな

学校教育目標「確かな学力と豊かな人間性を備え、
力強く生き抜く生徒の育成」

人として成長するためには

人として成長する機会として、「尊敬できる人と出会う」ことがあります。尊敬できる人から、いろいろなお話を聞いたり、その人がされることを見ながら学んだり、そうすることで自分自身が成長していきます。私自身これまでの人生で、そうした方に何人も出会ってきました。今度は、私が周りの人の成長を手助けしたいものだと考えています。

しかし、人生で出会える人の数はそれほど多いものではありません。

そこで、もう一つの方法として、「間接的に人と出会う」ことがあります。本などの「活字」から、メディア等を通して「言葉」として。自分で意識することで、間接的に人と出会う機会はたくさんあります。

これから「日本講演新聞ジュニア」を月2回程度の割合で子どもたちに配付します。これは、私が購読している「日本講演新聞（旧みやざき中央新聞）」におまけで付いているもので、印刷して配布して良いと承諾をいただいているものです。子どもたちの心に響く記事が一つでもあればと願っています。

（校長）



命について

ニュースを見ていると、他人の命を簡単に奪ってしまったり、自ら命を絶ってしまったり、悲しい内容をよく見かけます。

各ご家庭で、こうしたニュースをご覧になったとき、家族の中でどのようなお話をされていますか？

昔は、祖父母、曾祖父母と一緒に暮らしていて、自分にとってかけがえのない人が目の前でなくなっていくという、つらい経験をしていました。その悲しさが、実感として命の大切さを教えてくれたように感じます。

現在は核家族化しており、こうしたつらい経験をすることが少なくなっていると思います。ですから、私たち大人は、いろんな機会に「命を失ったときの周囲の人の悲しさ」を子どもたちに伝えていく必要があると思います。

子どもたちが、他人や、自分自身の「命の大切さ」を、少しでも実感として感じ、大切にす気持ちをもてるために、私たち大人の役割は大きいものです。



HP をご覧ください

学校の様子を中学校のホームページに掲載しています。下のバーコードを、スマホのカメラで読み取ることにつながります。ぜひ、お試ください。

時には、動画もアップしていきます。

